

事務事業名		火葬場管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	0 6 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目				
	施策名	2 6 生活環境の保全				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0 2 環境に配慮した生活の推進				01	04	01	06	01
根拠法令		墓地・埋葬等に関する法律、同施行規則、大船渡市火葬場条例、同施行規則		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		事務事業区分				
所属	部課名	生活福祉部市民環境課				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		A 政策事業 B 施設整備		
	課長名	下田 敦子						C 施設管理 D 補助金等		
	係名	環境衛生係	電話	27-3111	E 一般(A～D以外)					
	担当者	鈴木 康代	内線	126						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・亡くなられた方と最後のお別れをする場所としてふさわしい施設となるよう、市営火葬場(おおふなと斎苑)を適切に管理する。おおふなと斎苑は死体等と動物死骸の火葬を行う。火葬業務と施設の維持管理は、指定管理者に委託している。 ・具体的な業務は、以下のとおり ①火葬業務及び施設の維持管理(清掃・草刈等)の業務委託 ②火葬場施設の整備及び修繕 ・事業費は指定管理者への委託料、施設の修繕費、光熱水費、保険料、消耗品費などに支出される。 ※東日本大震災の犠牲者の火葬に係る費用は3款災害救助費、被災したおおふなと斎苑の修繕に係る費用は11款災害救助費から支出した。 ※浄土苑は、火葬件数の減少と施設の老朽化に伴い、平成27年3月施設を解体した。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
おおふなと斎苑は死体等669件・動物168件の火葬を行った。また、おおふなと斎苑の火葬炉、証明修繕、自動ドア装置修繕などを行った。指定管理者による施設の維持管理は通常通り実施された。		ア	火葬場稼動可能日数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	設備保守点検回数
火葬場使用申請により、死体及び動物の死骸を火葬する。保守点検結果を基に、おおふなと斎苑の火葬炉を修繕する。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
火葬場の利用者		名称	
火葬場		単位	
		カ	普通炉使用申請数
		キ	動物炉使用申請数
		ク	火葬炉修繕予定箇所数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
利用者が気持ちよく使用できる。		名称	
火葬場施設が良好な状態に保たれる。		単位	
		サ	普通炉使用件数/普通炉使用申請数
		シ	動物炉使用件数/動物炉使用申請数
		ス	火葬炉修繕箇所数/火葬炉修繕予定箇所数
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
良好な生活環境を確保する。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	元年度(目標)	2年度(目標)
				27年度	28年度						
投入量	事業費	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		6,382	7,174	7,752	7,844	7,584	7,584	
		一般財源	千円		23,922	16,962	17,964	21,472	24,546	24,546	
		事業費計(A)	千円		30,304	24,136	25,716	29,316	32,130	32,130	
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間		400	400	400	400	400	400	
		人件費計(B)	千円		1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
		トータルコスト(A)+(B)	千円		31,904	25,736	27,316	30,916	33,730	33,730	
⑤活動指標	ア	日		304	303	304	303	307	306		
	イ	回		41	41	41	41	41	41		
	ウ										
⑥対象指標	カ	件		605	551	599	669	600	600		
	キ	件		97	163	176	168	170	170		
	ク	箇所		6	5	5	6	7	5		
⑦成果指標	サ	%		100	100	100	100	100	100		
	シ	%		100	100	100	100	100	100		
	ス	%		100	100	100	100	100	100		

事務事業ID	0081	事務事業名	火葬場管理運営事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 おおふなと斎苑は、老朽化が著しかった旧火葬場の隣接地を拡張して平成10年6月に建設に着手し、平成11年7月に共用が開始された。浄霊苑は、昭和62年4月に旧三陸町で共用開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 両火葬場とも、平成18年度から指定管理者により運営されている。浄霊苑について、火葬及び日常の清掃、草刈り業務等をおおふなと斎苑については、さらに自家用電気工作物や冷暖房設備、受水槽、自動ドアの保守点検、浄化槽の維持管理、施設の定期清掃、庭園樹木剪定等についても指定管理者に委託している。現在、3～4名の従事者が交代で勤務し火葬等業務を行っているほか、指定管理者が再委託し実施している各種設備の保守点検等の立会いも行っている。高齢化社会を迎え、火葬件数が増えるとともに、火葬時間の短縮が求められるようになってきた。また、ペットを飼育する市民が増加し、動物火葬の希望が多くなってきている。おおふなと斎苑は、旧施設と比較して敷地面積及び施設規模とも拡大するとともに、付帯設備も増加したことに伴い、管理、運営のためには多くの人員を要し、設備の保守点検も専門業者を必要とする状況にある。
 浄霊苑は、火葬件数の減少と施設の老朽化に伴い、平成27年3月31日に廃止し、平成28年3月に解体した。H27.4.1組織変更により、課名が「市民環境課」に変更となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 火葬場は、亡くなられた方と最後のお別れをする場所であり、遺族にとっては、深い悲しみに包まれる特別な場所で、感情が激しく変化する状態にもなるため、火葬従事者の言葉遣いや態度には、特にも気をつけた行動が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 火葬場施設を適切に管理することは、周辺地域の環境保全につながり、良好な生活環境の確保に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 火葬場経営は、自治体が行うの一般的であり、特に地方ほどその傾向が強い。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 現在、住民からの苦情もなく、また、トラブルもなく管理、運営が行われており、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 火葬等業務を含め、各種設備の保守点検等の委託業務が適正に行われ、また施設の修繕も計画的に実施しており適切である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市内には、市営火葬場以外に火葬業務を行っている民間施設はなし。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は指定管理者への委託料と施設の保守及び修繕料、燃料費が主であり、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成18年度から指定管理者制度により業務を実施しており、適正な事業費での運営であると考えている。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 現在、火葬に平均で1件あたり30,000円弱の経費がかかっている。現使用料を決定する際も、当時、単純計算で1件あたりの火葬経費が30,000円以上かかる状況にあったことから、無料であったものを有料とすることとしたが、市民誰もが死を迎え、火葬場を使用するという考えと社会状況を考慮して今の使用料となったため適切と考える。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上維持				低下		●	×		×		×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上維持																					
低下		●	×																		
	×		×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	建設から約20年が経過し、施設及び設備の改修・更新が必要となっており、それらに適切に対応しながら、事業を実施していく。